



報道関係各位

2020年1月吉日

ご取材のご案内

「災害大国日本」を支える災害医療拠点病院

～医療コンテナ車を使用した日本初の災害医療訓練～

【日時】 2020年1月19日(日) 8:30～12:30(8:10 受付開始)

【会場】 済生会横浜市東部病院(受付:3階多目的ホール)

拝啓 ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

社会福祉法人 恩賜財団 神奈川県済生会横浜市東部病院(神奈川県横浜市鶴見区、以下、当院)は、「東京湾北部を震源とするマグニチュード7.3の首都直下型・区内最大震度6強の地震発生」を想定した、鶴見区災害医療訓練を2020年1月19日(日)に開催致します。主催は、鶴見区災害医療連絡会議(鶴見区医師会・鶴見区歯科医師会・鶴見薬剤師会・鶴見区社会福祉協議会・汐田総合病院・佐々木病院・平和病院・鶴見大学・鶴見警察署・鶴見消防署・鶴見区役所・横浜在宅看護協議会・当院)で、当日は1つのシナリオをもとに同時並行で複数の会場で訓練が行われ、市内でも類を見ない規模となっております。

近年、日本各地で大規模な自然災害が起きており、2011年3月に発生した東日本大震災、2016年4月の熊本地震、2018年9月の北海道胆振東部地震など、震度6弱以上の地震が多発しております。また、昨年は記録的な大雨をもたらした台風19号をはじめ、2014年、2018年の西日本豪雨など雨風により甚大な被害をもたらす災害も増えています。

自然災害では地域の医療拠点となる病院そのものが被災することもあり、地震による影響では、大阪府北部地震での停電や昨年の北海道胆振東部地震によるブラックアウトによって医療現場にも大きな影響が出ました。また、過去には豪雨により広範囲に浸水した影響で病院自体が水没し、カルテや医療機器が使えなくなる被害もありました。今後想定されている首都直下型地震でも病院の一部が倒壊する恐れや機能が損なわれる懸念もあります。こうした状況のなか、災害医療拠点病院をはじめとする地域の医療機関及び関係団体との連携が今後ますます必要不可欠となっていきます。

横浜市鶴見区における災害医療訓練は、県の災害拠点病院に指定されている当院が2007年から行ってきた院内の訓練が元となっており、周囲の関係機関に協力を依頼しながら毎年規模を拡大しており、昨年は30を越す機関・団体の約800名が災害時の動きや連携を実践してきました。

今回は、日本初の試みとして国土強靱化基本計画に基づく医療モジュールによる医療コンテナ車を使用した訓練を当院で行います。そのほか、EMIS(広域災害救急医療情報システム)の入力や閲覧、トリアージ講習・実施訓練、モバイルファーマシーの展示などを予定しております。

ご多忙中とは存じますが、ぜひともご取材を賜りたく、ご案内申し上げます。

敬具

<本件についてのお問い合わせ先>

済生会横浜市東部病院 広報推進室 担当:今野・荒木

TEL:045-576-3000 E-mail:koho@tobu.saiseikai.or.jp



【開催概要】

■タイトル

鶴見区災害医療訓練 ～地域連携で首都直下型地震に備える～

■日時

2020年1月19日(日) 8:30～12:30(8:10 受付開始)

■会場

済生会横浜市東部病院

■進行(予定)

- 8:10～8:30 受付(済生会横浜市東部病院3階多目的ホール)
- 8:30～8:50 開会式
- 9:00～9:45 訓練リハーサル・病院本部(3階多目的ホール)
訓練説明および訓練開始・診療班(1階ホール)
- 10:00～11:40 実動訓練
- 11:40～11:50 各エリア振り返り
- 12:00 全体反省会・閉会式
- 12:20 閉会
- 12:20～12:30 質疑応答(メディア向け)

■想定

- * 首都直下地震による広域甚大災害
- * 区内に多数の傷病者が発生。一部の医療機関に倒壊の恐れあり
- * 一般固定電話および携帯電話は不通
- * 院内 PHS、インターネット回線、衛星電話、MCA 無線は使用可
- * 災害時優先電話は発信のみ使用可

※済生会横浜市東部病院被害想定:電気は自家発電装置に切り替え。ガス、水道は使用可能。
エレベーター、電子カルテは使用不可。

■主な訓練内容

- * 災害拠点病院(済生会横浜市東部病院)における災害時実動訓練
- * 区災害対策本部の開設・運営、情報受伝達(関係医療機関・地域防災拠点・福祉避難所ほか)
- * 医療救護隊の参集・編成、地域防災拠点への巡回・出動、トリアージ講習・実地訓練
- * 地域防災拠点の開設・運営、モバイルファーマシー配備訓練、傷病者の病院への搬送
- * 福祉避難所の開設・運営、要援護者受入れ



■メディア立ち入り禁止エリア

* 1階救命救急センター

* 4～10階＝手術室及び病棟（患者さんがいる為）

■アクセス

社会福祉法人 恩賜財団 神奈川県済生会横浜市東部病院

〒230-8765 神奈川県横浜市鶴見区下末吉 3-6-1



<交通のご案内>

■車の場合

東京方面から：首都高速道路「浜川崎IC」または「汐入IC」出口をご利用ください。

横浜方面から：「岸谷生麦IC」または「子安IC」出口をご利用ください。

※上記 IC いずれからでも当院まで約 15 分。「新鶴見橋西側」交差点をお入りください。

■主催

鶴見区災害医療連絡会議（済生会横浜市東部病院・鶴見区医師会・鶴見区歯科医師会・鶴見薬剤師会・鶴見区社会福祉協議会・汐田総合病院・佐々木病院・平和病院・鶴見大学・鶴見警察署・鶴見消防署・鶴見区役所・横浜在宅看護協議会）

■協力

下末吉地区自治連合会、生麦病院、徳田病院、片山整形外科記念病院、鶴見西井病院、鶴見西口病院、森山病院、つるとうクリニック、横浜市福祉サービス協会、区内福祉避難所、DMAT（川崎市立川崎病院、横浜労災病院、済生会横浜市南部病院）、横浜市医師会聖灯看護専門学校、横浜市医療局、神奈川区役所、西区役所 他

【済生会横浜市東部病院について】



当院は平成 19 年 3 月 30 日に開院しました。横浜市東部地域の中核病院として「医療を通じて生命（いのち）を守る」という理念のもと、常に一步先の急性期医療の提供を目指し、国が示す 5 疾病・5 事業の推進、並びに近隣の病院、診療所及び介護・福祉施設との連携体制の強化による、地域完結型医療の構築に努めております。救命救急センターを併設し、小児科救急、精神科救急を含む救急医療に積極的に取り組み、災害時には災害拠点病院としての機能を果たします。がん、心疾患、脳血管疾患等に対する高度専門医療についても、最新鋭の医療機器を導入するなど一層充実させてまいります。また、現場を離れている潜在看護師の復職支援など地域貢献にも積極的に取り組んでおります¹。

1 出典：神奈川県済生会横浜市東部病院 (<https://skanagawa-saiseikai.jp/facility/10.html>)



済生会横浜市東部病院 広報推進室

FAX:045-576-3525

ご取材のご案内

「災害大国日本」を支える災害医療拠点病院 ～医療コンテナ車を使用した日本初の災害医療訓練～

【日時】 2020年1月19日(日) 8:30～12:30(8:10 受付開始)

【会場】 済生会横浜市東部病院(受付:3階多目的ホール)

お手数ですが1月17日(金)までにFAXにてご返信ください。

ご出席 / ご欠席

貴社名	
ご所属	
ご芳名	(他名)
カメラ	<input type="checkbox"/> 有(スチール / ENG) <input type="checkbox"/> 無
TEL	
FAX	
E-MAIL	
通信欄	

※ご記入いただいた個人情報は、お申し込みの受付や資料の送付、当日の運営、ならびに今後の同種イベントのご案内の目的で利用させていただき、それ以外の目的で利用しません。